

## サテライト研修会記録

1 期 日 平成26年11月29日(土)

2 場 所 総合社会教育センター

3 講 師 弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子 氏

4 研修内容 「協同学習の基本」

- ・価値としての「協同」 — 互いに助け合うことを達成すべき目標とする  
競争や個別より、「協同して作業すること」を奨励する  
マルチレベルアプローチで子どもを育て、問題が起きないようにしていく  
子どもたち同士が助け合い、子どもたち同士が助けを求める
- ・「協同」の大切さ — 協同して学習すると、学業成績があがる  
協同は、様々な人と、どのように友達になるか、また、どのようにしたら上手くやっていけるかを生徒が学ぶ助けとなる
- ・協同学習のエッセンス  
説明 → 個人思考 → グループ思考 → 全体思考 → 個人思考  
◎感情・役割・思考の交流 ◎対人スキルの獲得 ◎表現力・学力の向上
- ・望ましいスキルを強化する  
①グループ形成に関わる技能 ②学習技能 ③対人関係をよくする技能
- ・評価の工夫 — 協同場面前でターゲットスキルを示す  
例)「今日は相手の話を聴くことを意識しましょう。うまくまとまらないときには、質問したりするといい聴き方ができるよ。」
- ・演習①「6角形の内角の和は720度になる。この求め方を図を使って説明しなさい」  
個人で → グループ交流 → グループごとの発表
- ・演習②「子どもにいちばんつけさせたい能力は何か」  
個人で → グループ交流 → グループごとの発表  
※メッセージャーという役割(他のグループを参考にしてくる役)もあり
- ・授業の約束 — みんなでつくっていく 約束が守れている学級はいじめがあまりおきない

5 感 想

- ・グループごとの演習が楽しく、学習しながらグループの人と親しくなっていくのが分かった。子どもたちも、きっと楽しく学び、学力もついていくと確信した。
- ・教師が問題を投げかける発問が工夫されていると思った。ただ「分かった人」と聞いているのでは、人間関係力や学力はつかないと思う。